

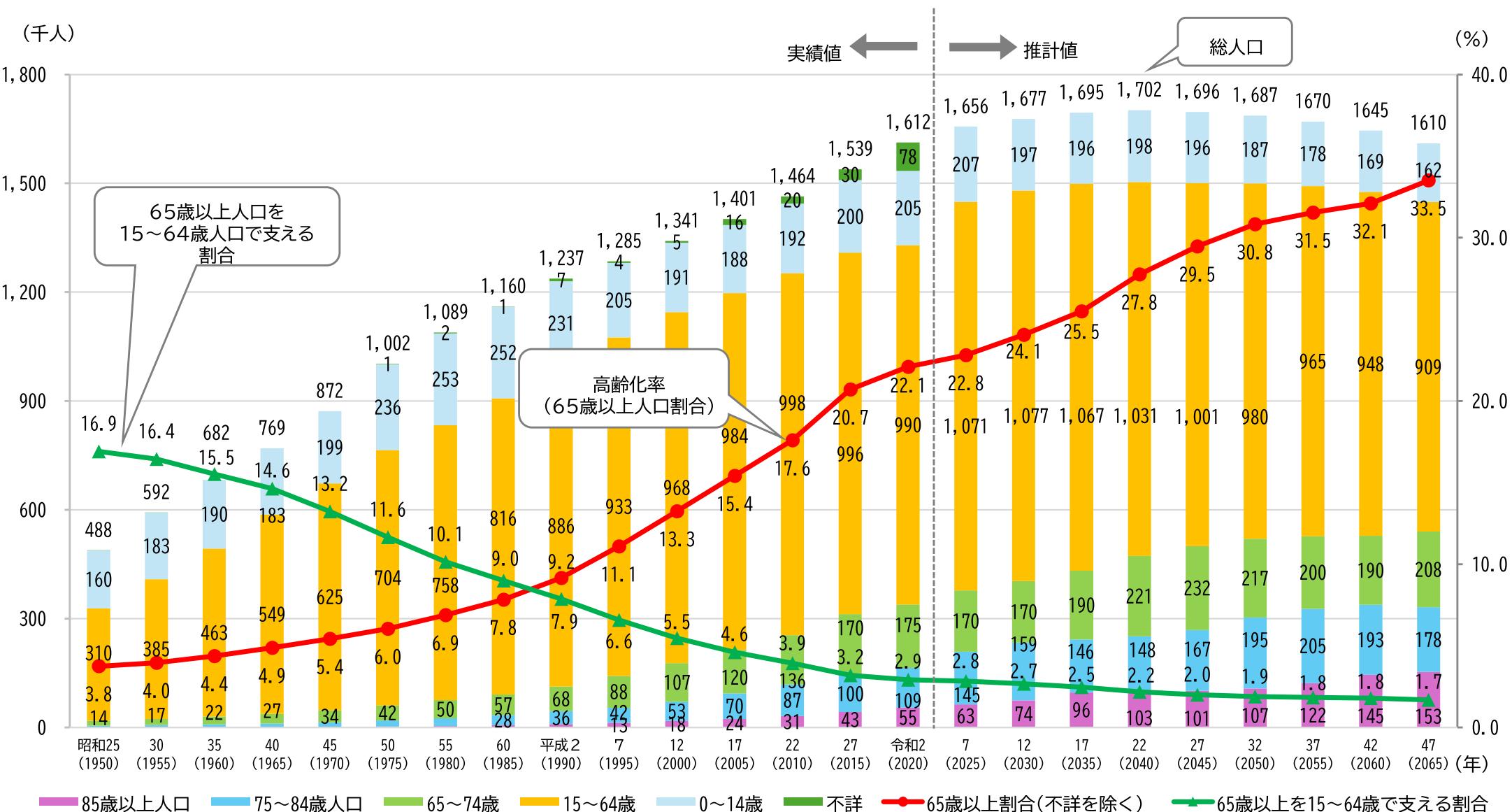
福岡市の 保健福祉を取り巻く状況

～目次～

	関係する目標	ページ		関係する目標	ページ
1. 人口の推移			7. 社会参加について		
(1)福岡市における高齢化の推移と将来推計	【目標1】、【目標3】	… 1	(1)高齢者の就業率	【目標2】	… 17
2. 单身高齢者、要介護認定者、認知症高齢者数			(2)障がい者が自宅や地域で生活するために必要なこと	【目標2】	… 18
(1)65歳以上の高齢者がいる一般世帯の類型別割合	【目標1】	… 2	(3)障がい者の就労支援として必要なこと	【目標2】	… 19
(2)福岡市における高齢者単独世帯数の推移と将来推計	【目標1】、【目標3】	… 3	8. 社会保障費について		
(3)福岡市における要介護認定者数・認定率の推移と 将来推計	【目標3】	… 4	(1)全国における社会保障給付費の推移	【目標3】	… 20
(4)福岡市における認知症高齢者数の推移と将来推計	【目標1】、【目標2】、【目標3】	… 5	(2)福岡市における保健福祉費決算額等の推移	【目標3】	… 21
3. 障がい者、難病患者数			(3)福岡市における介護保険給付費等の推移	【目標3】	… 22
(1)福岡市における障がい児・者数及び人口に占める 割合の推移	【目標1】、【目標3】	… 6	(4)福岡市における国民健康保険医療費の推移	【目標3】	… 23
(2)福岡市における身体障がい児・者の年齢構成の推移	【目標3】	… 7	(5)福岡市における後期高齢者医療費の推移	【目標3】	… 24
(3)福岡市における知的障がい児・者の年齢構成の推移	【目標3】	… 8	9. 福祉の担い手不足について		
(4)福岡市における精神障がい児・者の年齢構成の推移	【目標3】	… 9	(1)福岡市における従業員の過不足の状況	【目標3】	… 25
(5)福岡市における特定医療費(指定難病)受給者証 所持者数の推移	【目標3】	… 10	10. 高齢者の住環境について		
4. 権利擁護について			(1)住まいで困っていること	【目標3】	… 26
(1)障がい者の人権に関して問題があると思うこと	【目標1】	… 11	11. 感染症、食中毒について		
5. 地域福祉活動について			(1)福岡市における感染症の発生動向	【目標3】	… 27
(1)福岡市の地域福祉活動の状況について	【目標1】	… 12	(2)福岡市における食中毒の年間発生件数	【目標3】	… 28
6. 健康づくりについて			12. 災害時について		
(1)福岡市の主な死因別死者数の割合	【目標2】	… 13	(1)高齢者における災害が起きた時の心配事や問題点	【目標3】	… 29
(2)福岡市・全国 自殺者数の推移	【目標2】	… 14	(2)障がい者における災害が起きた時の心配事や問題点	【目標3】	… 30
(3)福岡市における高齢者の健康状態	【目標2】	… 15			
(4)平均寿命(令和2年)と健康寿命の差(令和4年)	【目標2】	… 16			

1. 人口の推移

(1) 福岡市における高齢化の推移と将来推計



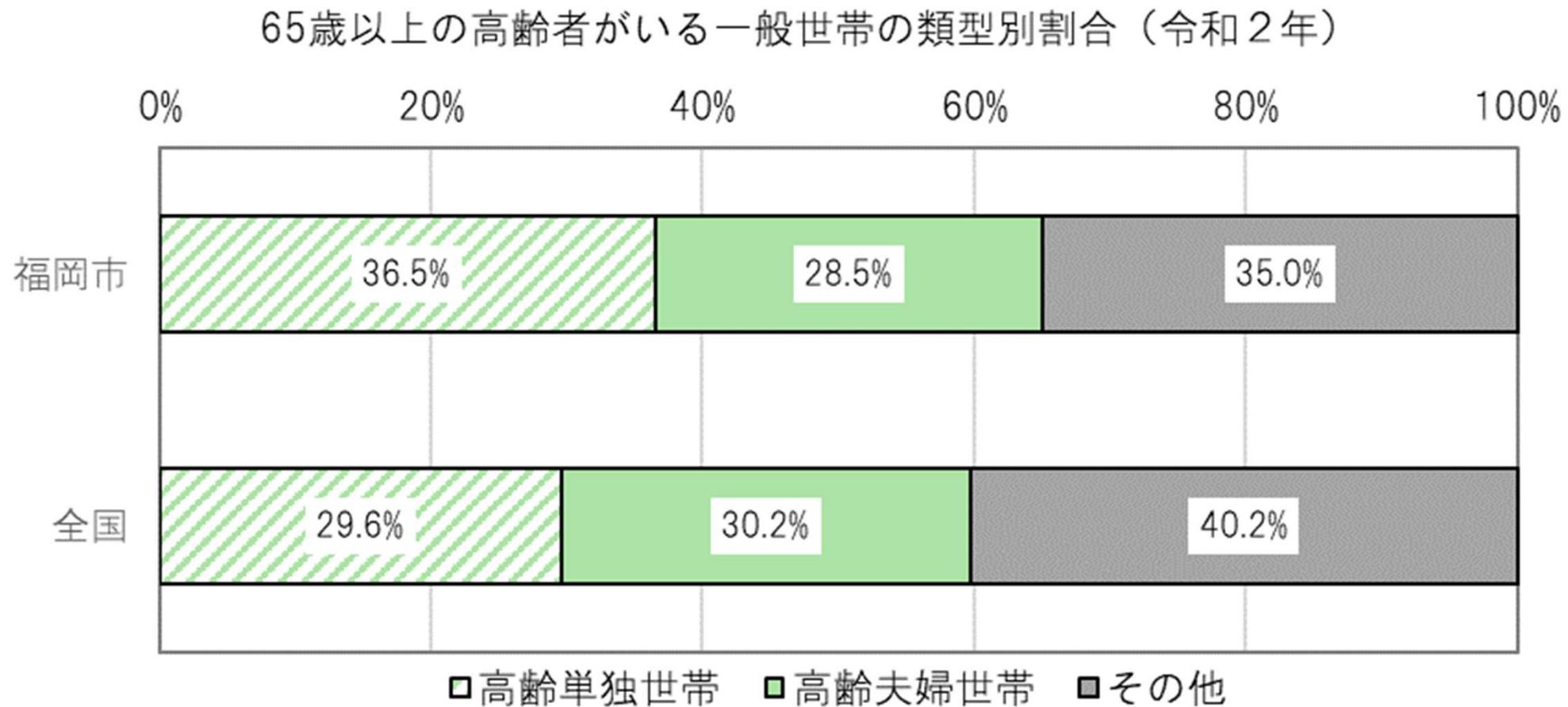
出典:2020年(令和2年)以前は「国勢調査」(総務省)、

2025年(令和7年)以降は「福岡市の将来人口推計(令和6年4月)」(福岡市)

※国勢調査の高齢化率(人口割合)算出にあたっては、総数から年齢不詳を除外している

2. 単身高齢者、要介護認定者、認知症高齢者数

(1) 65歳以上の高齢者がいる一般世帯の類型別割合

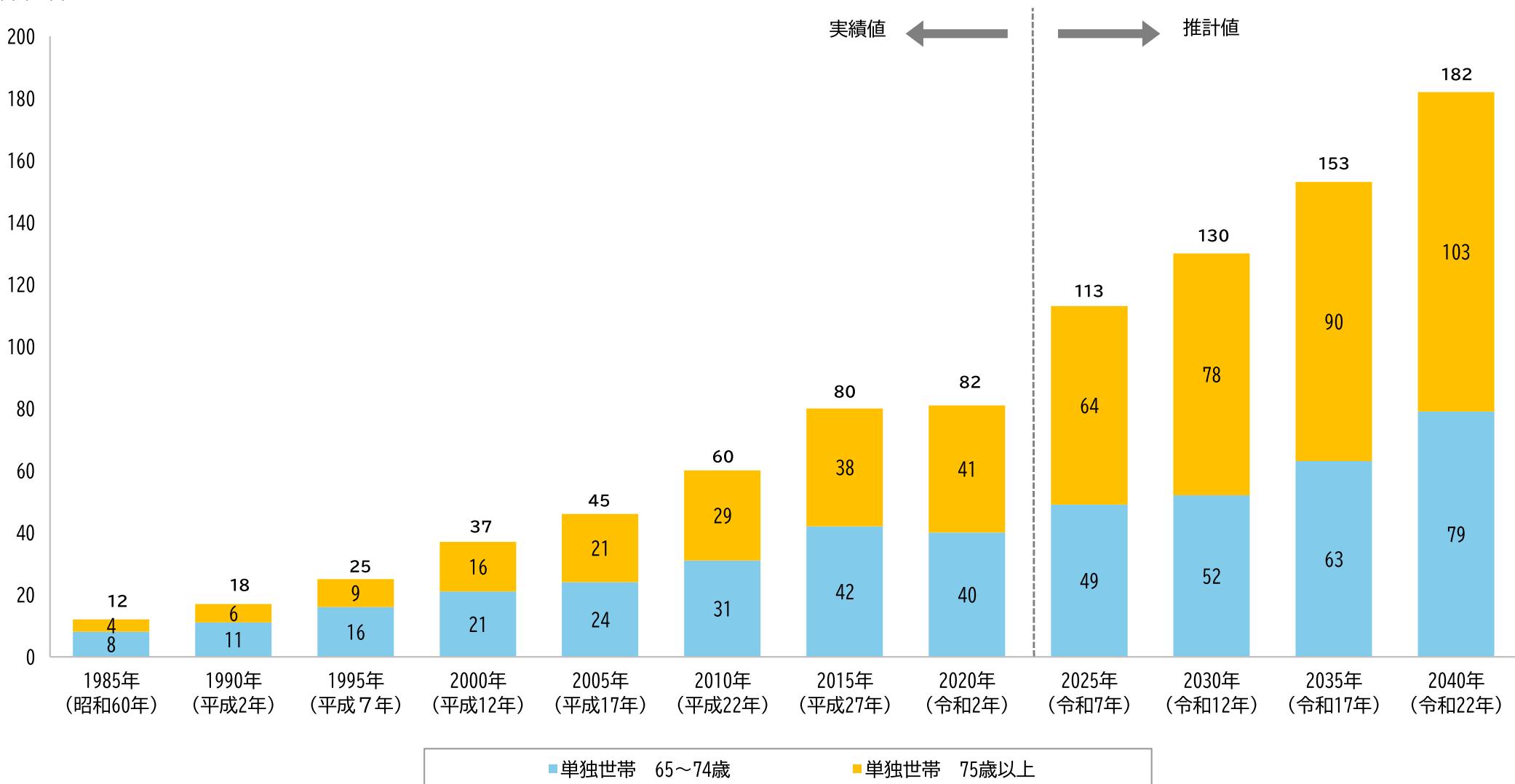


出典：国勢調査（総務省）

※ 高齢単独世帯は、65歳以上の1人のみの世帯。高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組の世帯

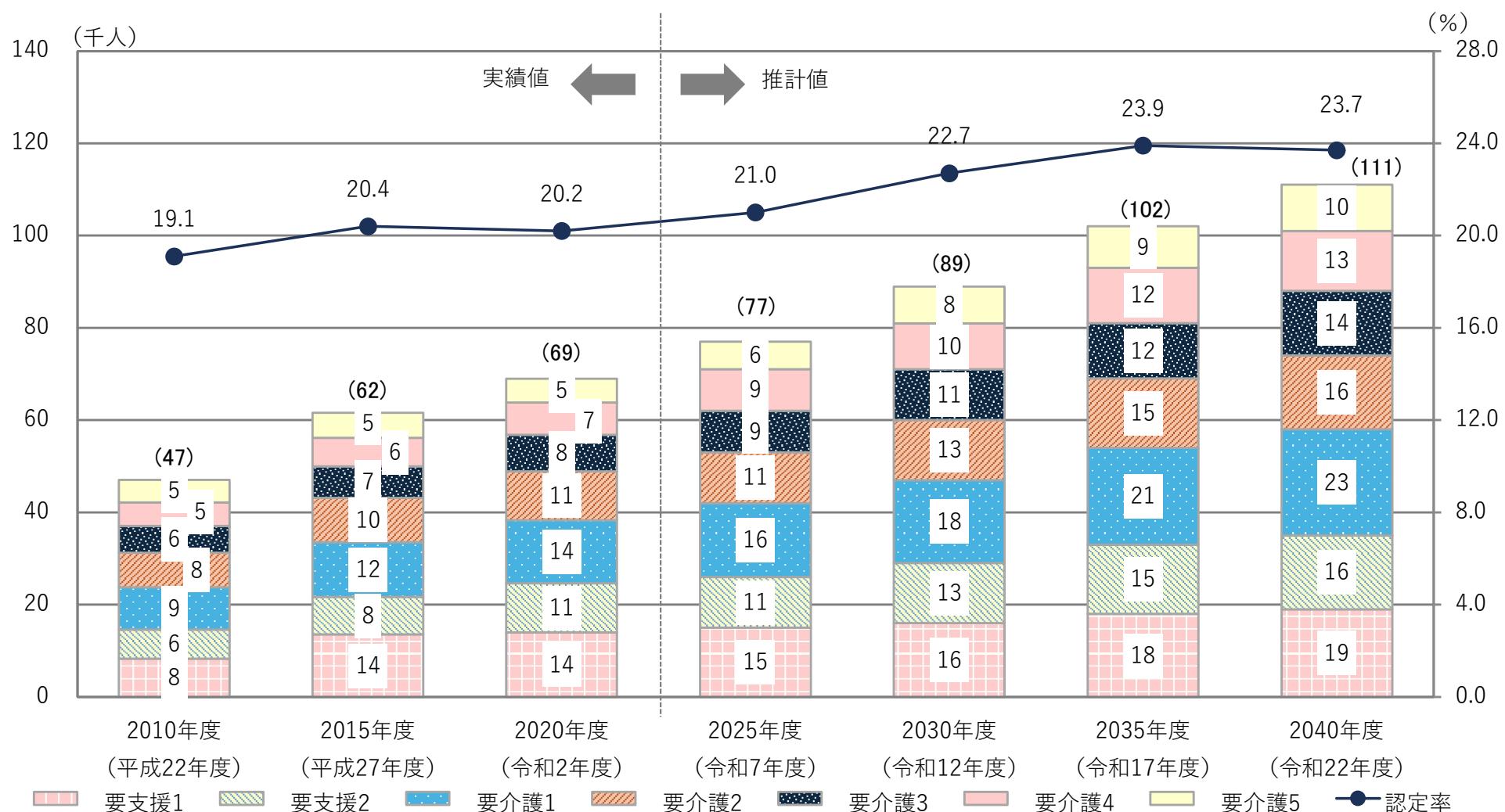
(2) 福岡市における高齢者単独世帯数の推移と将来推計

(千世帯)



出典:2020年(令和2年)以前は「国勢調査」(総務省)、
2025年(令和7年)以降は「福岡市の将来人口推計(令和6年4月)」(福岡市)

(3)福岡市における要介護認定者数・認定率の推移と将来推計



(注)2020年度(令和2年度)以前は実績値、2025年度(令和7年度)以降は推計値

出典:福岡市調べ

(4)福岡市における認知症高齢者数の推移と将来推計

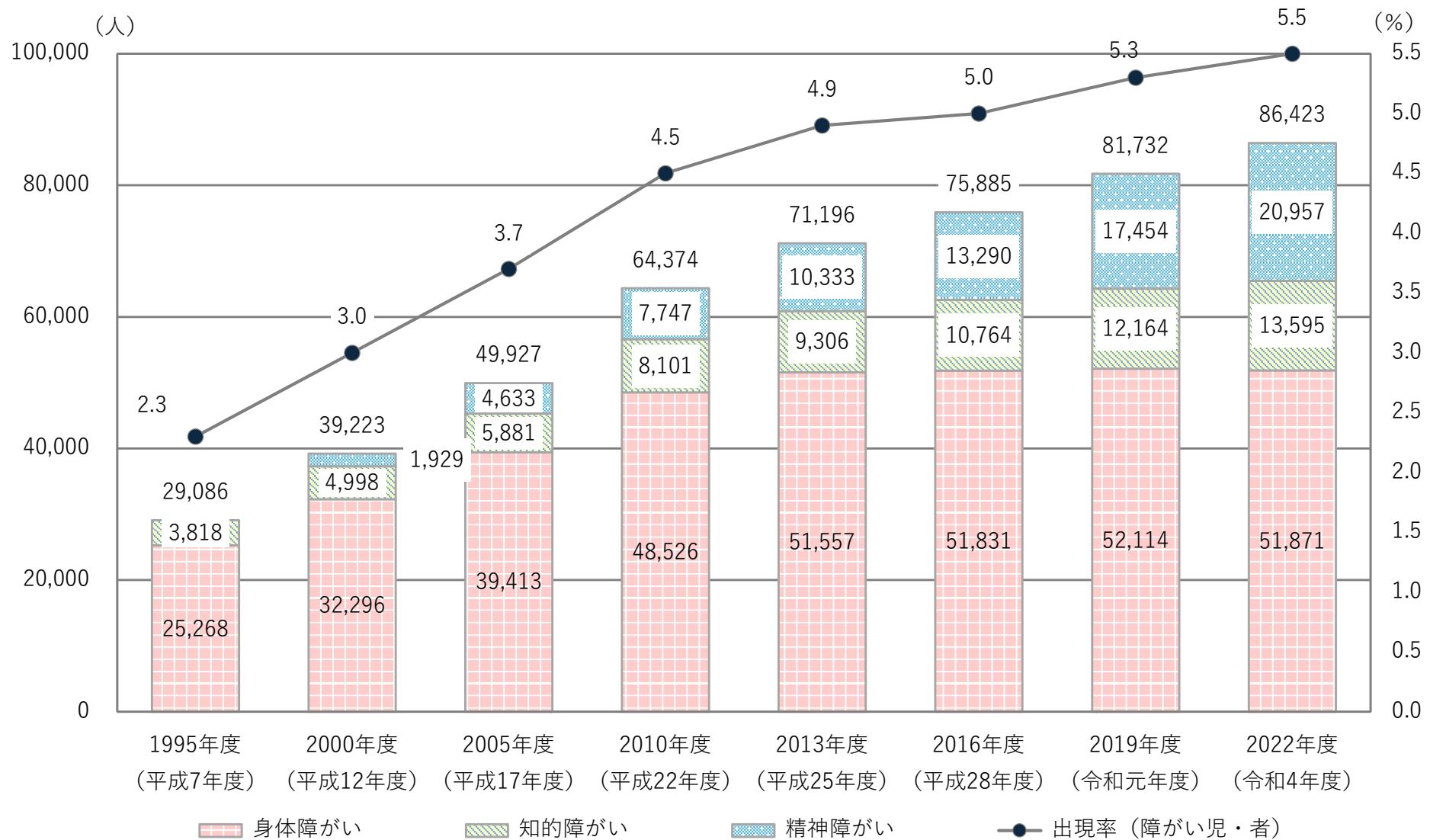


(注) 福岡市の要介護認定者に占める「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上(訪問調査時の評価)の人の数について、
2020年度(令和2年度)以前は実績値、2025年度(令和7年度)以降は【図4】の要介護認定者数を基に推計した数値

出典:福岡市調べ

3. 障がい者、難病患者数

(1) 福岡市における障がい児・者数及び人口に占める割合の推移

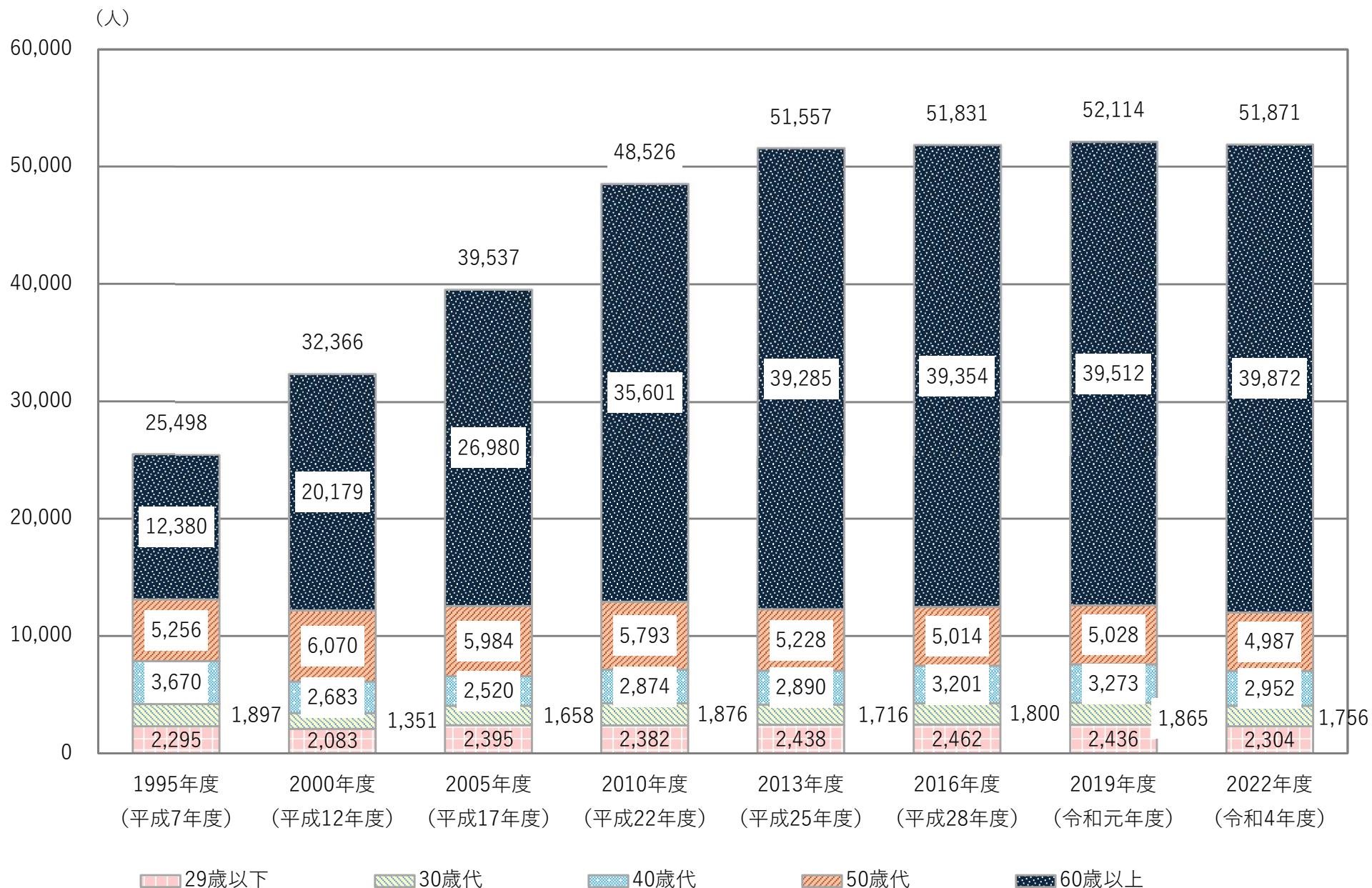


(注) 平成17年度調査までの統計は手帳未所持者を含んでいたため、未所持者を除外して再集計を行っている。

(注) 精神障害者保健福祉手帳は、平成7年10月から開始。7年度は未集計

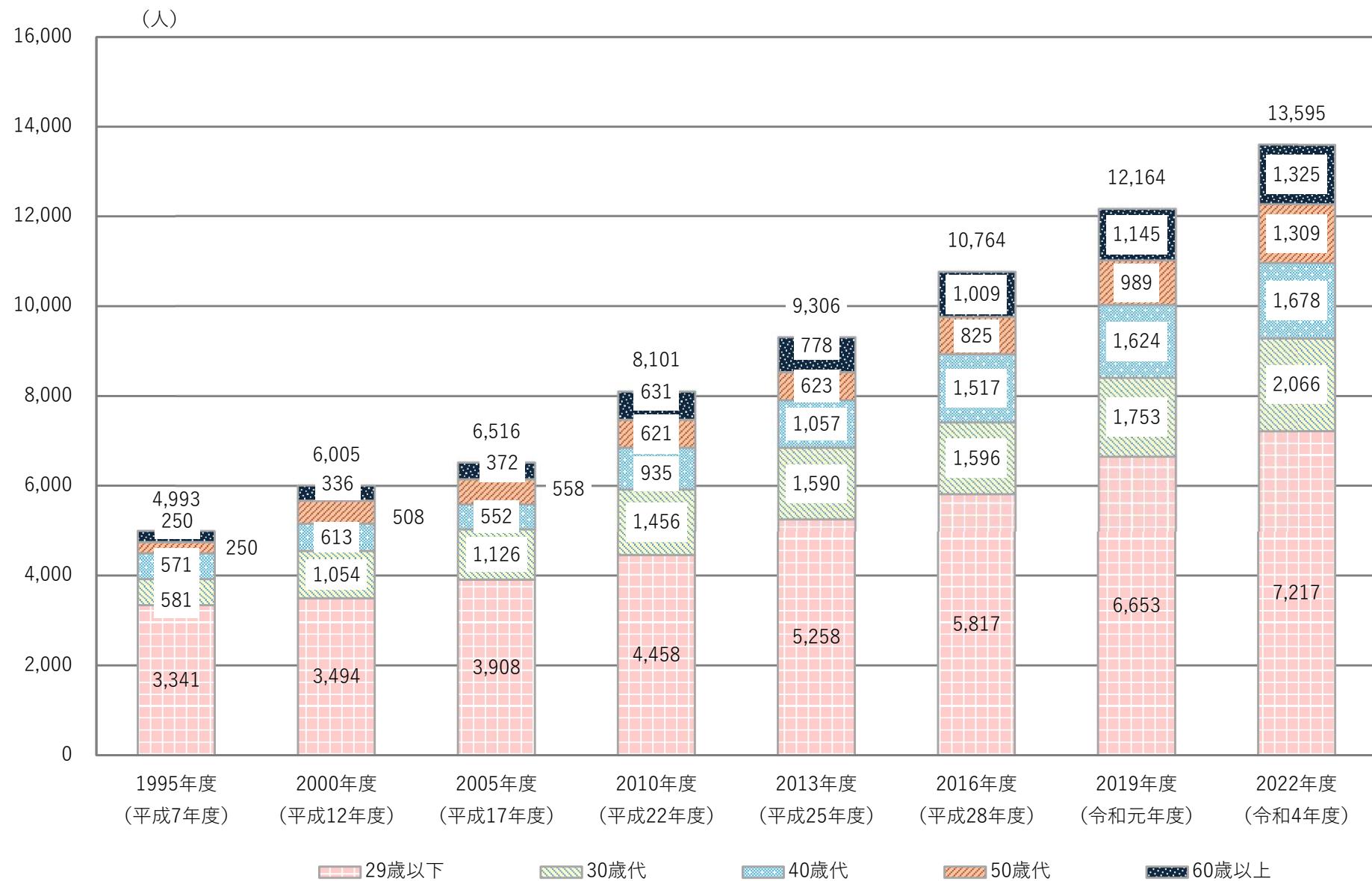
出典：福岡市調べ

(2)福岡市における身体障がい児・者の年齢構成の推移



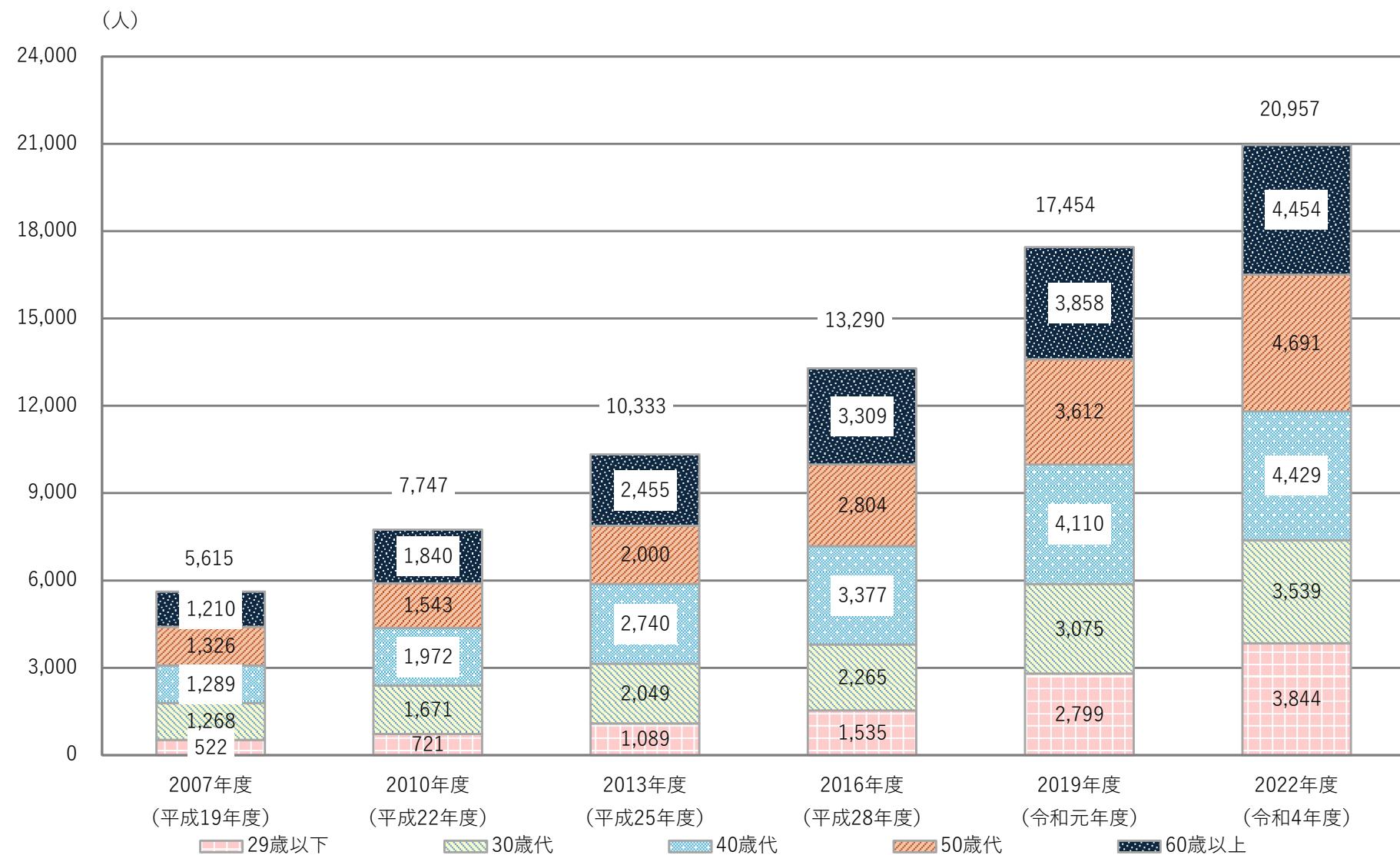
出典：福岡市調べ

(3)福岡市における知的障がい児・者の年齢構成の推移



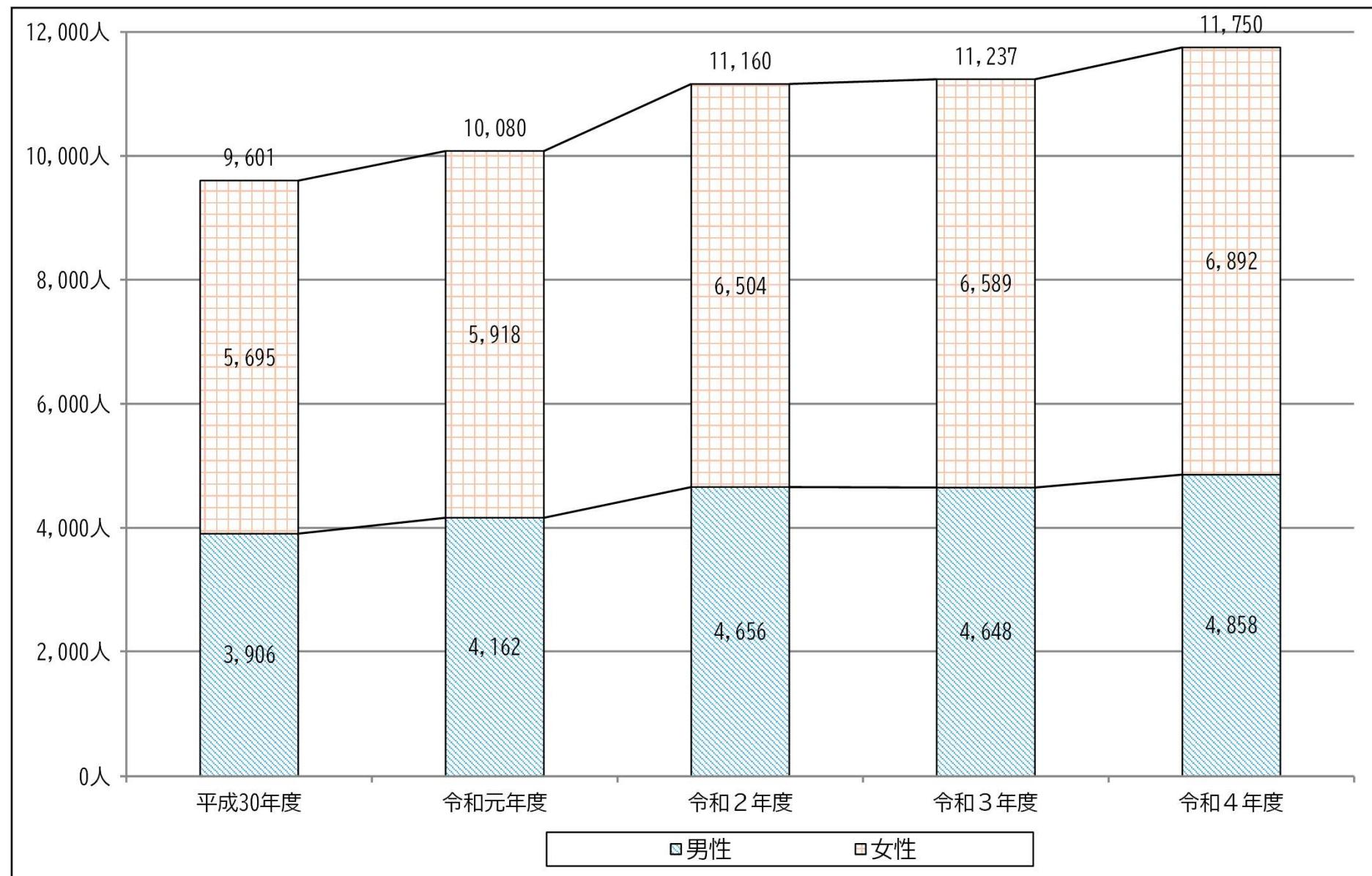
出典:福岡市調べ

(4)福岡市における精神障がい児・者の年齢構成の推移



出典：福岡市調べ

(5)福岡市における特定医療費(指定難病)受給者証所持者数の推移



出典:福岡市調べ

4. 権利擁護について

(1) 障がい者的人権に関して問題があると思うこと

	身体障がい者 (N=760)	知的障がい者 (N=563)	身体・知的 障がい児 (N=543)	精神障がい者 [通院] (N=701)	発達障がい児・者 (N=258)	難病患者 (N=661)
1位	道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと (29.8%)	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないと (28.0%)	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないと (41.3%)	差別的な言動を受けること (24.4%)	発達障がいの特性から生じる困難さに対し、配慮がなされないこと (57.8%)	道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと (32.1%)
2位	特にない (28.4%)	差別的な言動を受けること (27.4%)	差別的な言動を受けること (35.5%)	障がい者の意見や行動が尊重されないこと (22.5%)	学校における一人ひとりの特性に応じた支援体制が不十分なこと (37.2%)	特にない (30.0%)
3位	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないと (17.5%)	働く場所や能力を発揮する機会が少ないと (19.3%)	働く場所や能力を発揮する機会が少ないと (31.3%)	働く場所や能力を発揮する機会が少ないと (22.0%)	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないと (30.6%)	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないと (18.6%)
4位	差別的な言動を受けること (13.5%)	特にない (19.1%)	学校の受け入れ体制が不十分なこと (20.4%)	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないと (21.8%)	差別的な言動を受けること (29.5%)	差別的な言動を受けること (15.0%)
5位	聴覚や視覚に障がいのある人へ必要な情報を伝える配慮が足らないこと (10.8%)	障がい者の意見や行動が尊重されないと (15.2%)	障がい者の意見や行動が尊重されないと (17.9%)	特にない (20.5%)	働く場所や能力を発揮する機会が少ないと (21.7%)	働く場所や能力を発揮する機会が少ないと (12.9%)

出典：令和元年度 福岡市障がい児・者等実態調査

5. 地域福祉活動について

(1) 福岡市の地域福祉活動の状況について

ふれあいサロン参加者数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7,969人	8,607人	9,808人	11,060人

ふれあいネットワーク見守り世帯数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
48,065世帯	48,795世帯	46,865世帯	47,000世帯

ふれあいネットワークボランティア参加者数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
12,543人	12,418人	11,508人	11,390人

よかトレ実践ステーション創出数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
785か所 (591団体・194施設)	858か所 (638団体・220施設)	939か所 (689団体・250施設)	1,037か所 (736団体・301施設)

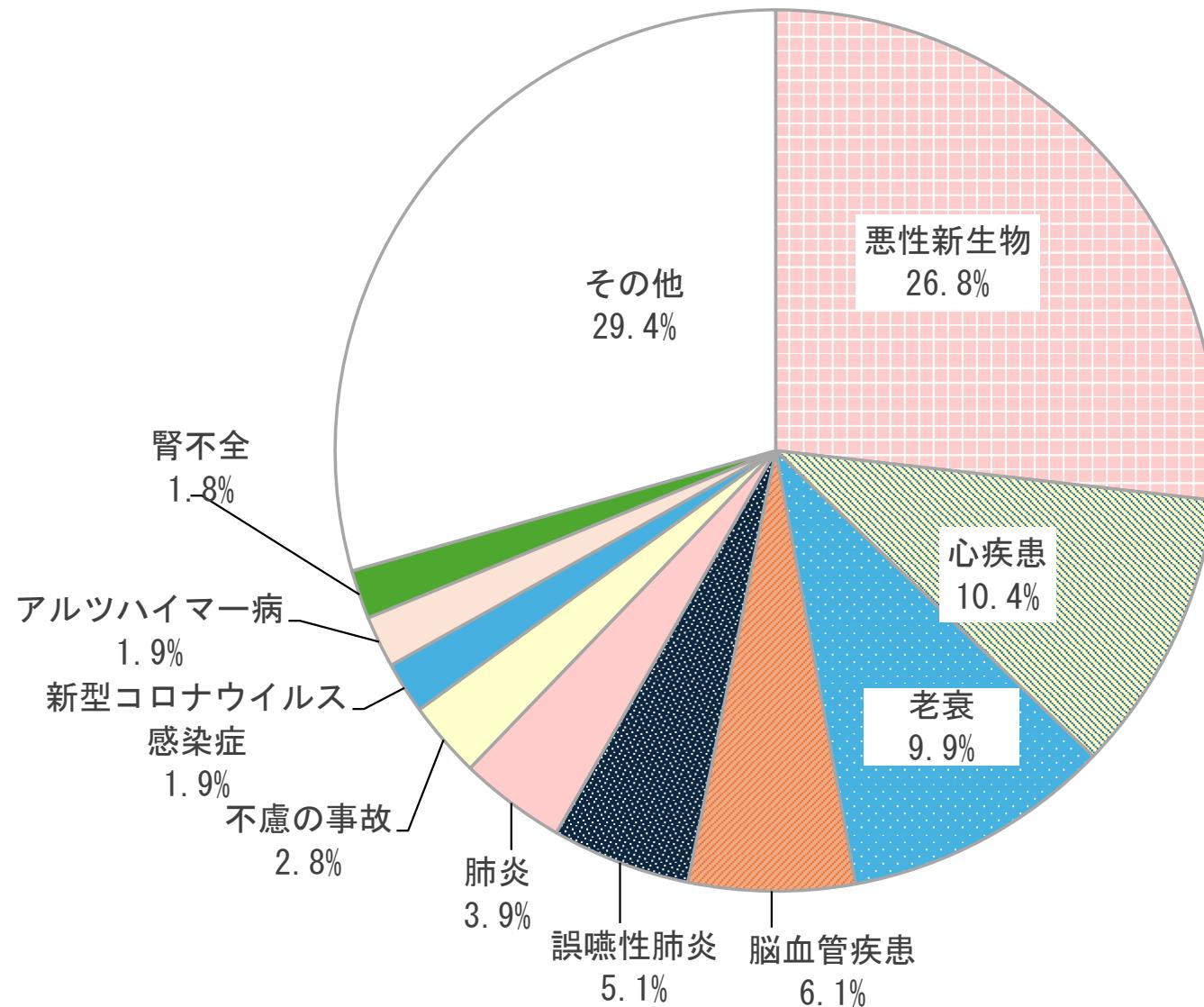
買い物支援(市と協働した買い物支援の実施地域数(累計))

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9地域	13地域	19地域	20地域

出典:福岡市調べ

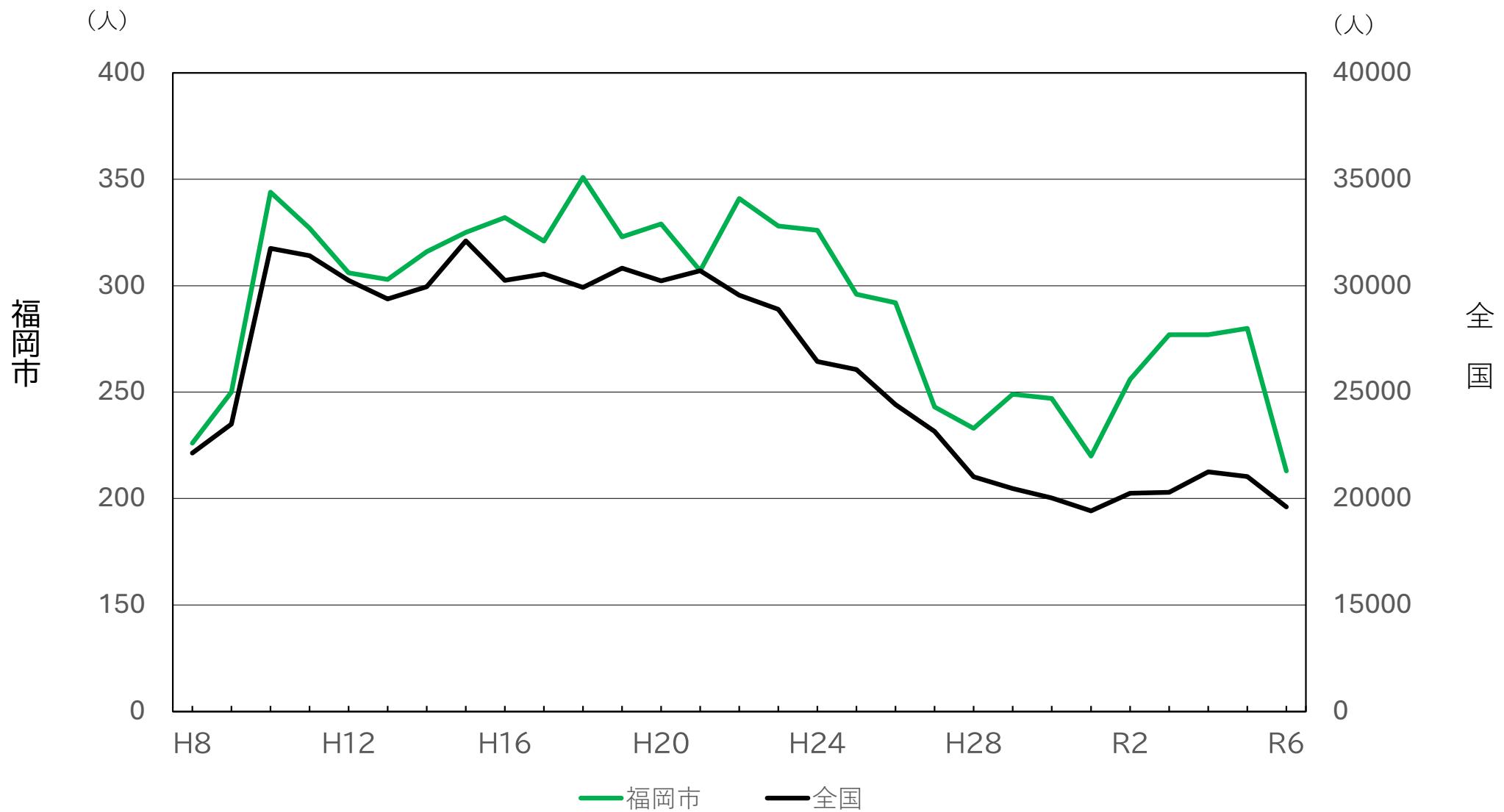
6. 健康づくりについて

(1) 福岡市の主な死因別死亡者数の割合



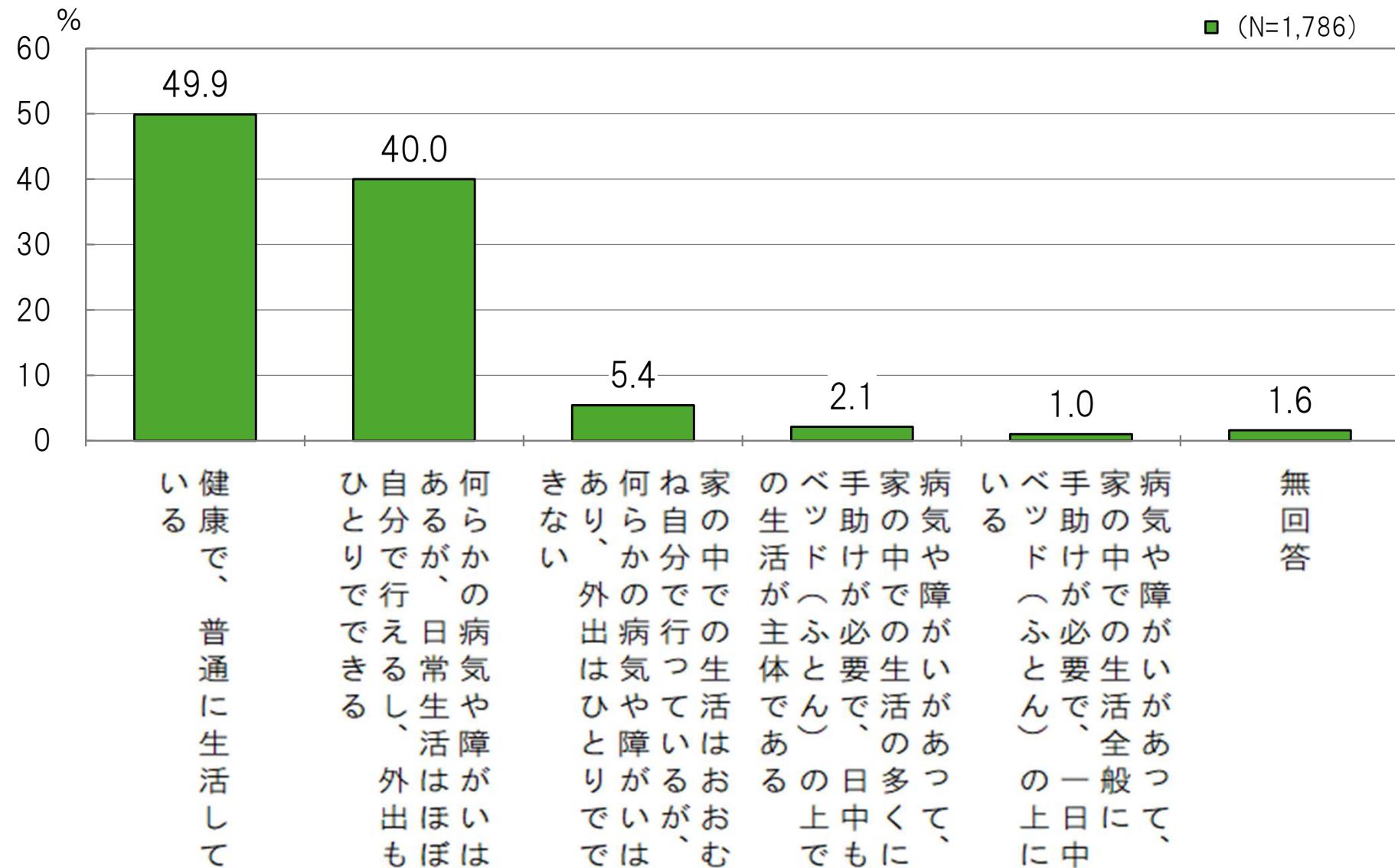
出典:厚生労働省 人口動態統計

(2)福岡市・全国 自殺者数の推移

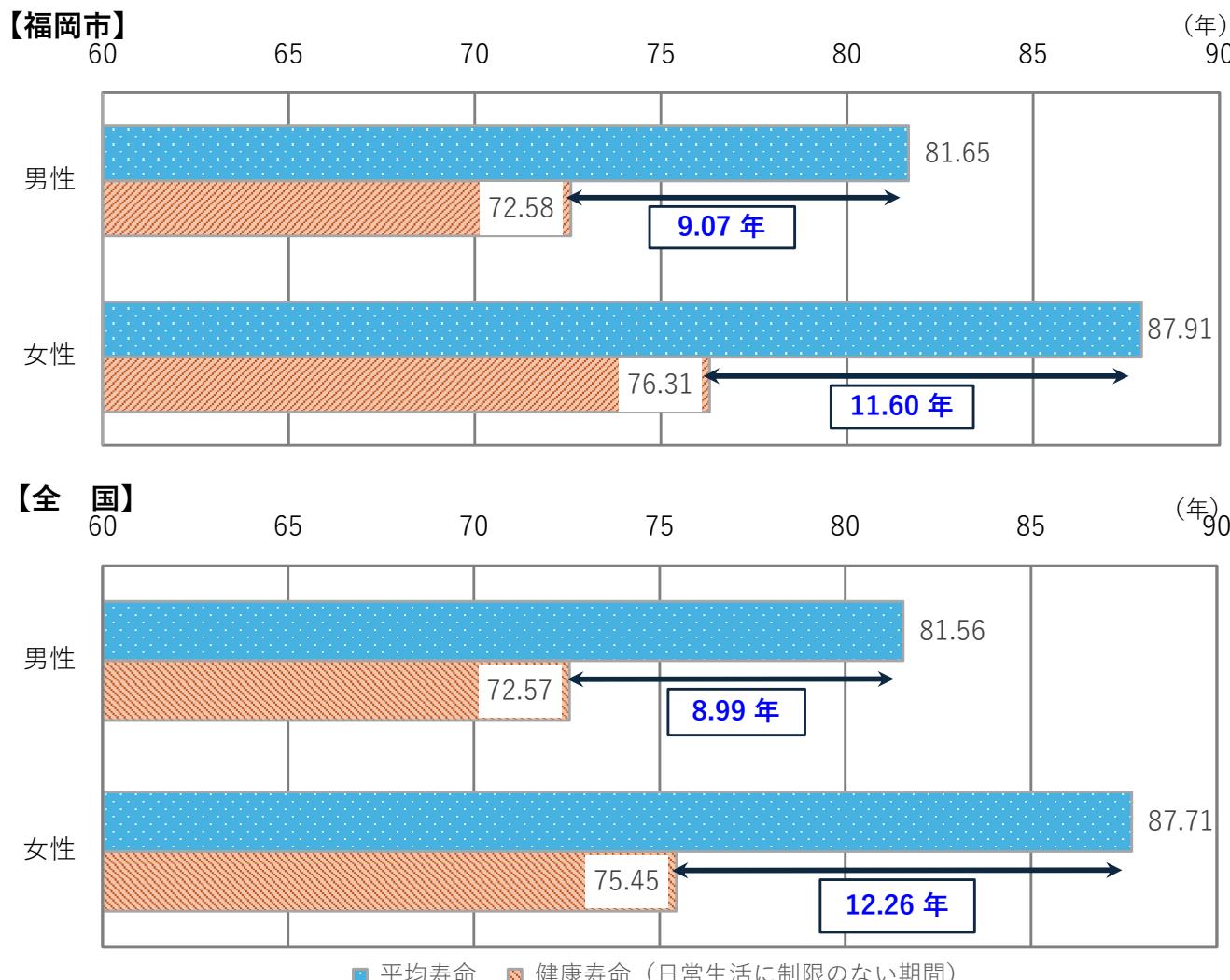


出典:人口動態統計(厚生労働省)

(3)福岡市における高齢者の健康状態



(4)平均寿命(令和2年)と健康寿命の差(令和4年)



大都市の健康寿命（令和4年/2022年）
(単位：年)

	男性	女性
1位	浜松市	73.70
2位	仙台市	73.55
3位	横浜市	73.39
4位	静岡市	73.37
5位	川崎市	73.35
6位	さいたま市	73.15
7位	広島市	72.93
8位	名古屋市	72.79
9位	福岡市	72.58
10位	千葉市	72.51
11位	堺市	72.50
12位	北九州市	72.44
13位	岡山市	72.30
	熊本市	72.30
14位	神戸市	75.01
15位	札幌市	72.28
16位	相模原市	72.11
17位	京都市	71.98
18位	神戸市	71.95
19位	東京都区部	71.63
20位	新潟市	71.50
21位	大阪市	68.96
	堺市	73.66

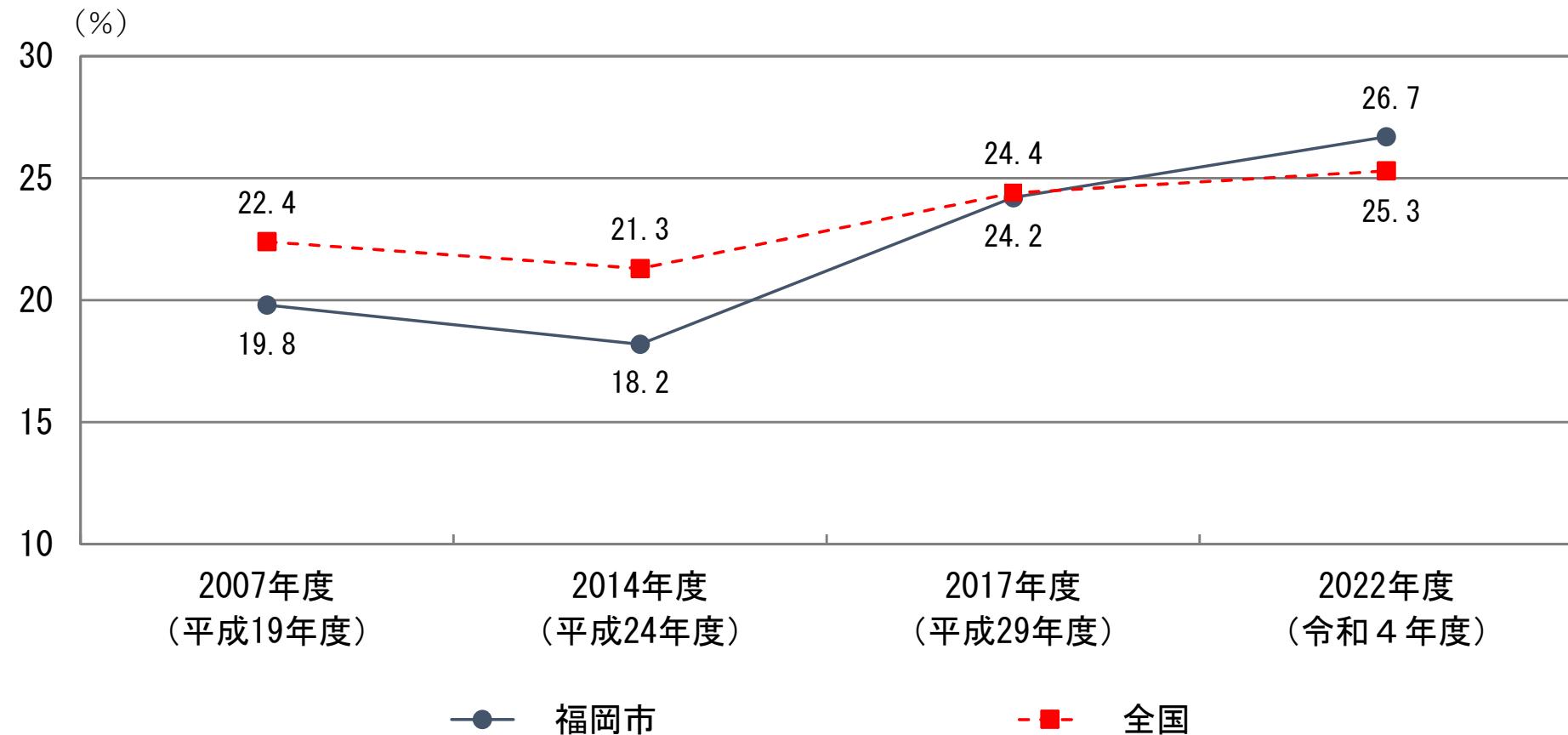
出典:(平均寿命)福岡市:令和2年都道府県別生命表(厚生労働省)

全国 :令和2年完全生命表(厚生労働省)

(健康寿命)厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命の算定・評価、関連要因に関する検討－2022年指標値の算定と推移評価、関連要因の検討－」

7. 社会参加について

(1) 高齢者の就業率



出典:就業構造基本統計調査

(2)障がい者が自宅や地域で生活するために必要なこと

	身体障がい者 (N=760)	知的障がい者 (N=563)	身体・知的 障がい児 (N=543)	精神障がい者 [通院] (N=701)	精神障がい者 [入院] (N=390)	発達障がい児・者 (N=258)	難病患者 (N=661)
1位	主治医や医療機関が近くにあること(29.6%)	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること(37.3%)	仕事があること(37.6%)	仕事があること(26.2%)	訪問看護(68.3%)	仕事があること(56.2%)	主治医や医療機関が近くにあること(35.2%)
2位	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること(29.2%)	仕事があること(27.2%)	お子さんの見守りを頼める人がいること(34.4%)	主治医や医療機関が近くにあること(25.8%)	家族や親戚などの身内(49.2%)	地域や職場の人たちが障がいについて理解があること(46.9%)	スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること(25.6%)
3位	スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること(27.0%)	家族と同居できること(23.0%)	就労や生活の自立、機能の回復へ向けた訓練施設に通えること(26.3%)	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること(22.5%)	安心して暮らせる住まいの確保(47.9%)	地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること(28.7%)	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること(25.4%)
4位	家族と同居できること(19.1%)	グループホームなどの仲間と共同生活できる場があること(22.1%)	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること(25.0%)	スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること(21.5%)	病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど(34.6%)	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること(23.3%)	仕事があること(21.2%)
5位	昼間の介護を頼める人がいること(14.8%)	短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること(19.2%)	地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること(18.8%)	家族と同居できること(16.5%)	介護保険サービス(33.3%)	就労や生活の自立、機能の回復へ向けた訓練施設に通えること(14.7%)	家族と同居できること(20.7%)

出典:令和元年度 福岡市障がい児・者等実態調査

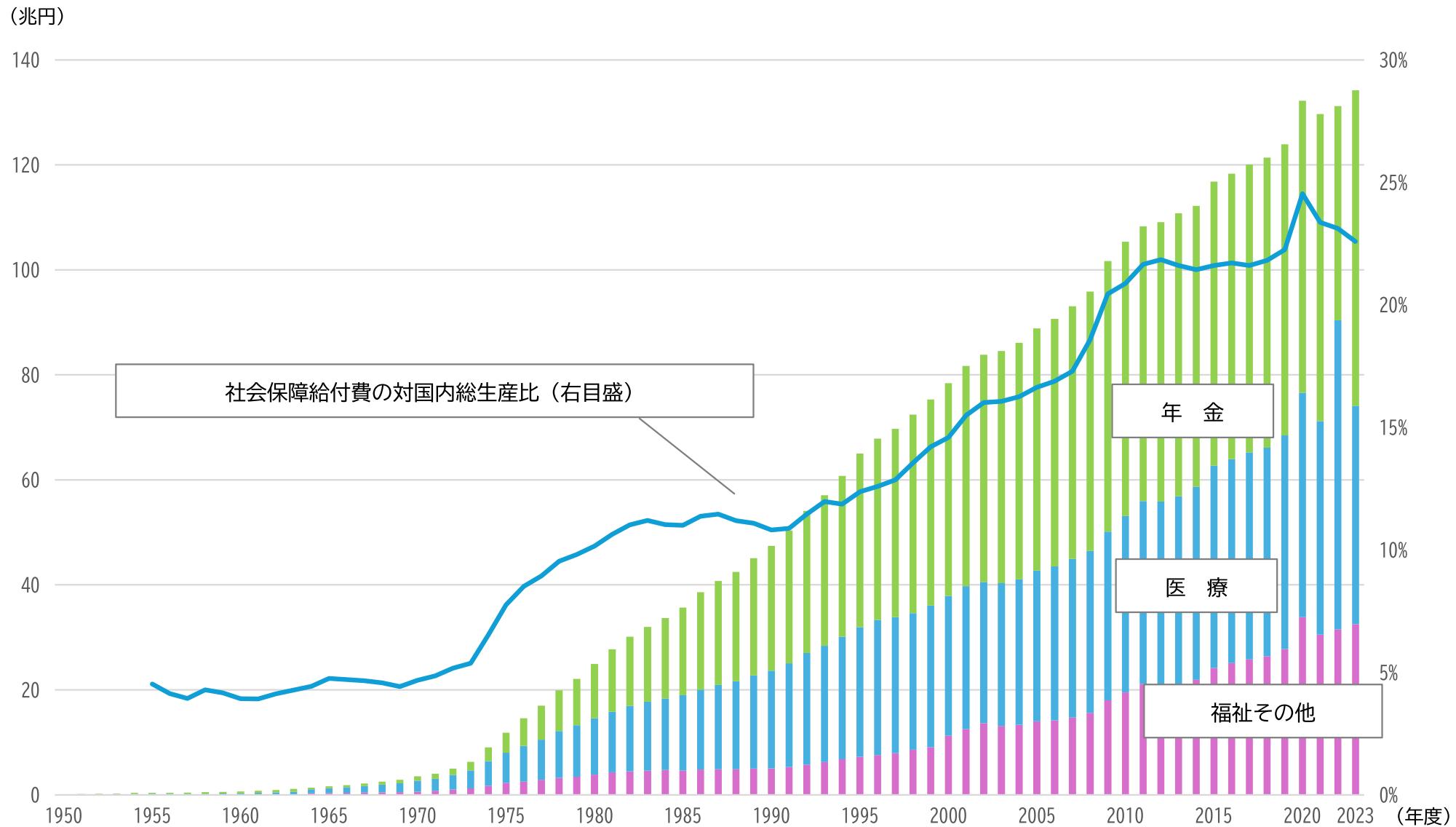
(3)障がい者の就労支援として必要なこと

	身体障がい者 (N=760)	知的障がい者 (N=563)	精神障がい者 [通院] (N=701)	発達障がい児・者 (N=85)	難病患者 (N=661)
1位	調子の悪いときに休みを取りやすくする (35.3%)	仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援 (41.7%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (54.8%)	仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援 (61.2%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (54.0%)
2位	在宅勤務 (29.9%)	工賃(収入)の増加 (37.2%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (44.7%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (57.6%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (41.3%)
3位	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (29.4%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (36.6%)	工賃(収入)の増加 (35.4%)	発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮 (56.5%)	在宅勤務 (39.8%)
4位	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (23.5%)	試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみること (30.6%)	在宅勤務 (31.0%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (50.6%)	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (34.5%)
5位	工賃(収入)の増加 (20.8%)	仕事(作業)の内容の簡略化などの配慮 (28.8%)	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (29.8%)	工賃(収入)の増加 (43.5%)	収入の増加 (21.5%)

出典:令和元年度 福岡市障がい児・者等実態調査

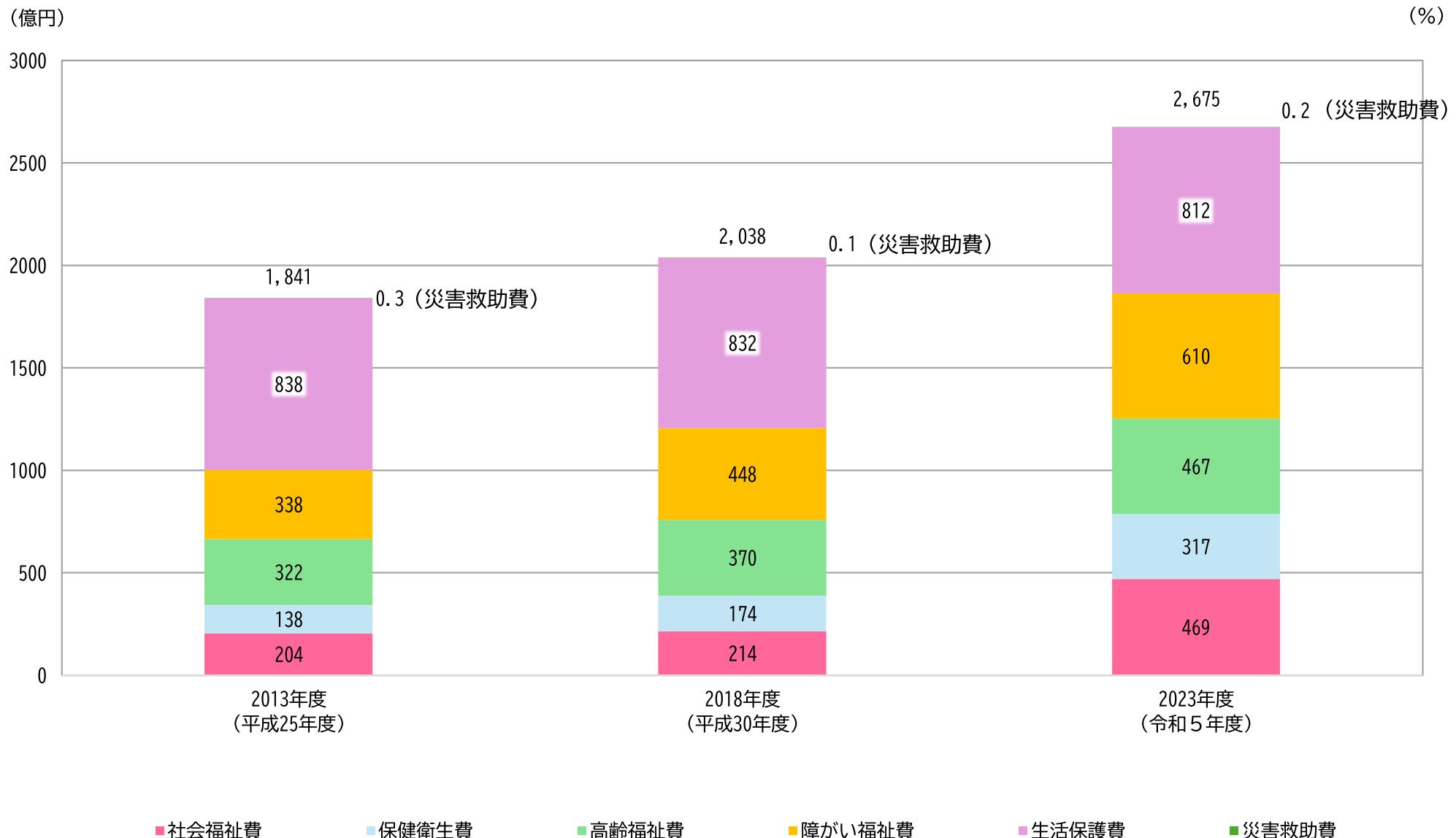
8. 社会保障費について

(1) 全国における社会保障給付費の推移



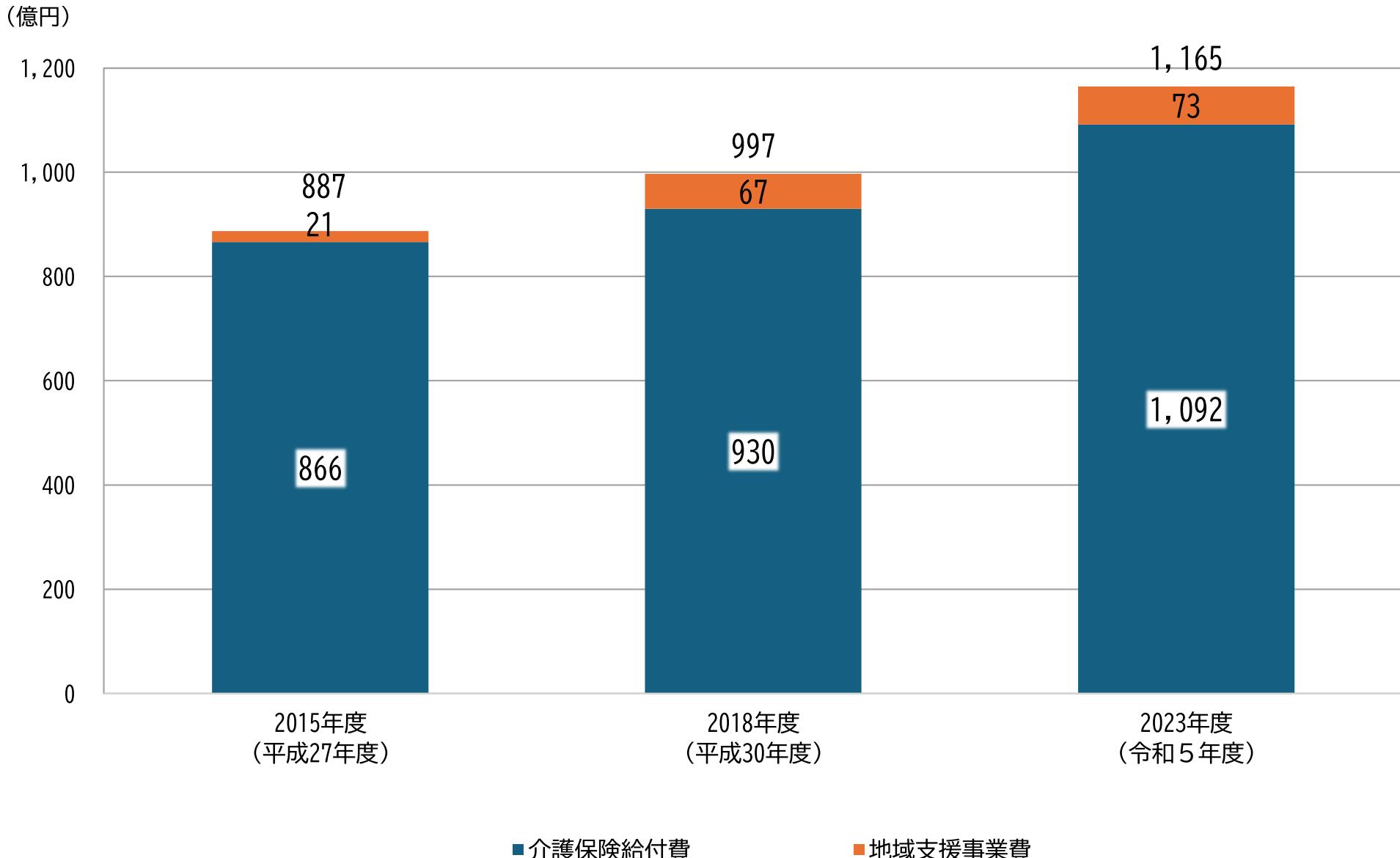
出典: 国立社会保障・人口問題研究所「令和3年度社会保障費用統計」を一部改変

(2)福岡市における保健福祉費決算額等の推移



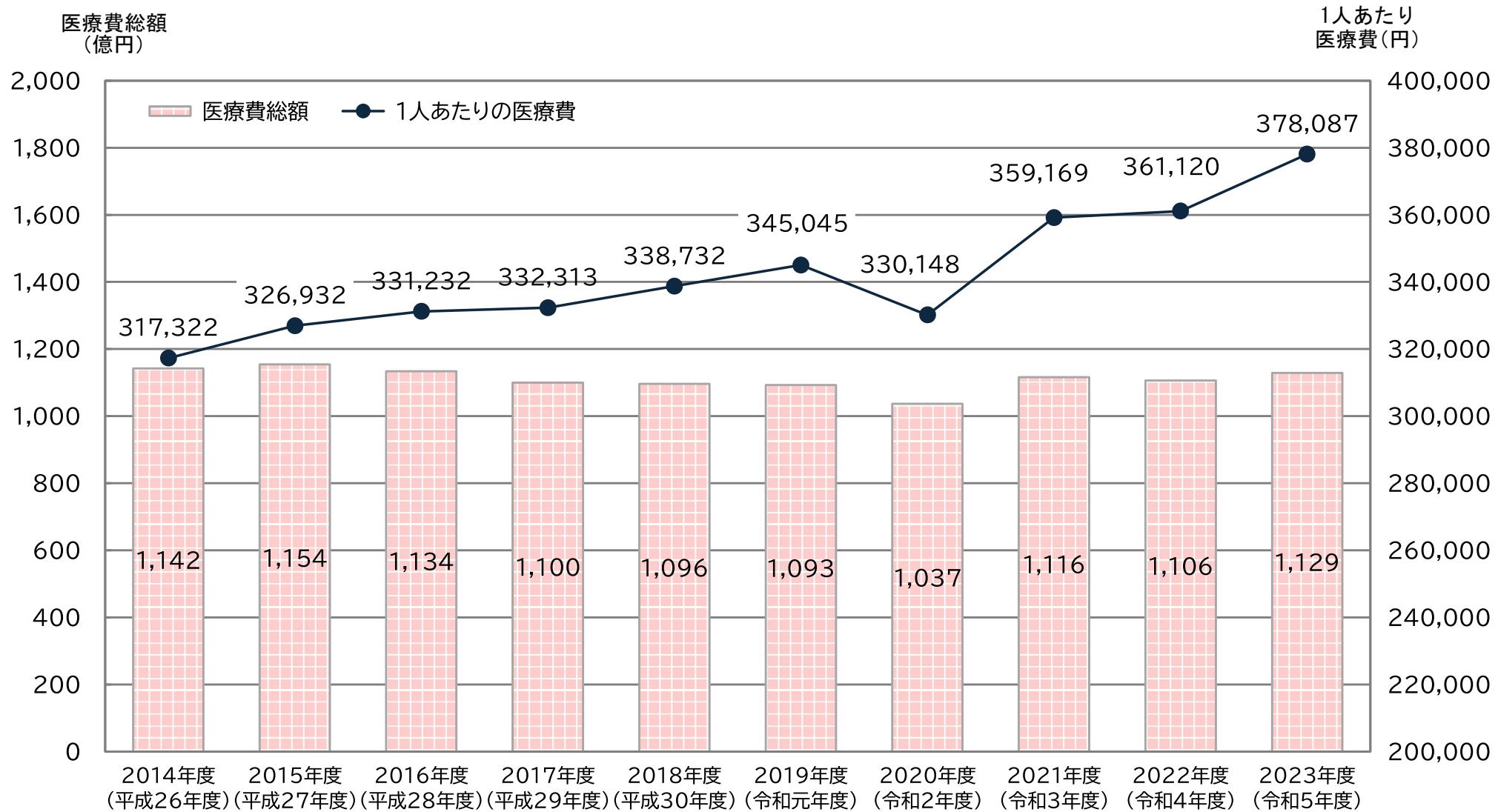
出典:福岡市調べ

(3)福岡市における介護保険給付費等の推移



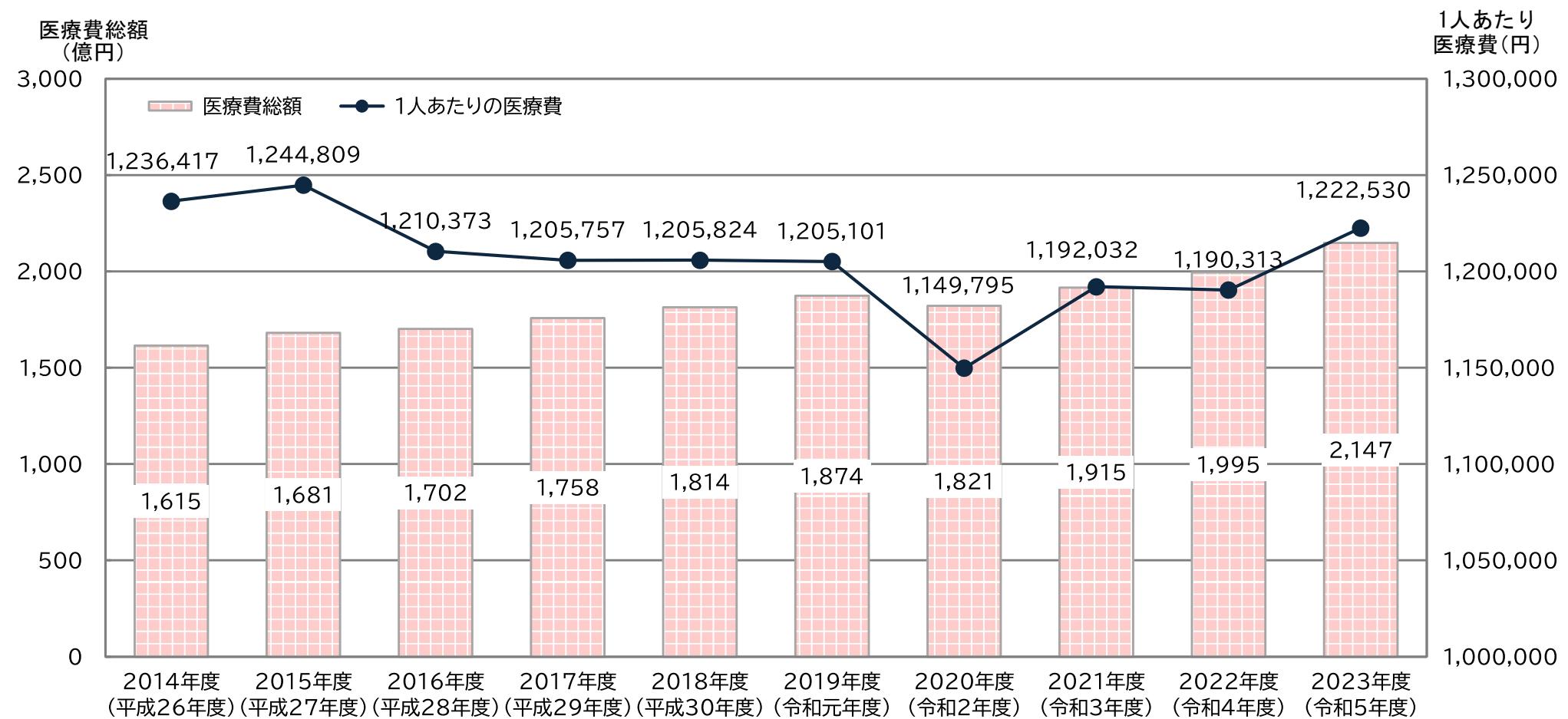
出典:福岡市調べ

(4)福岡市における国民健康保険医療費の推移



出典:福岡市調べ

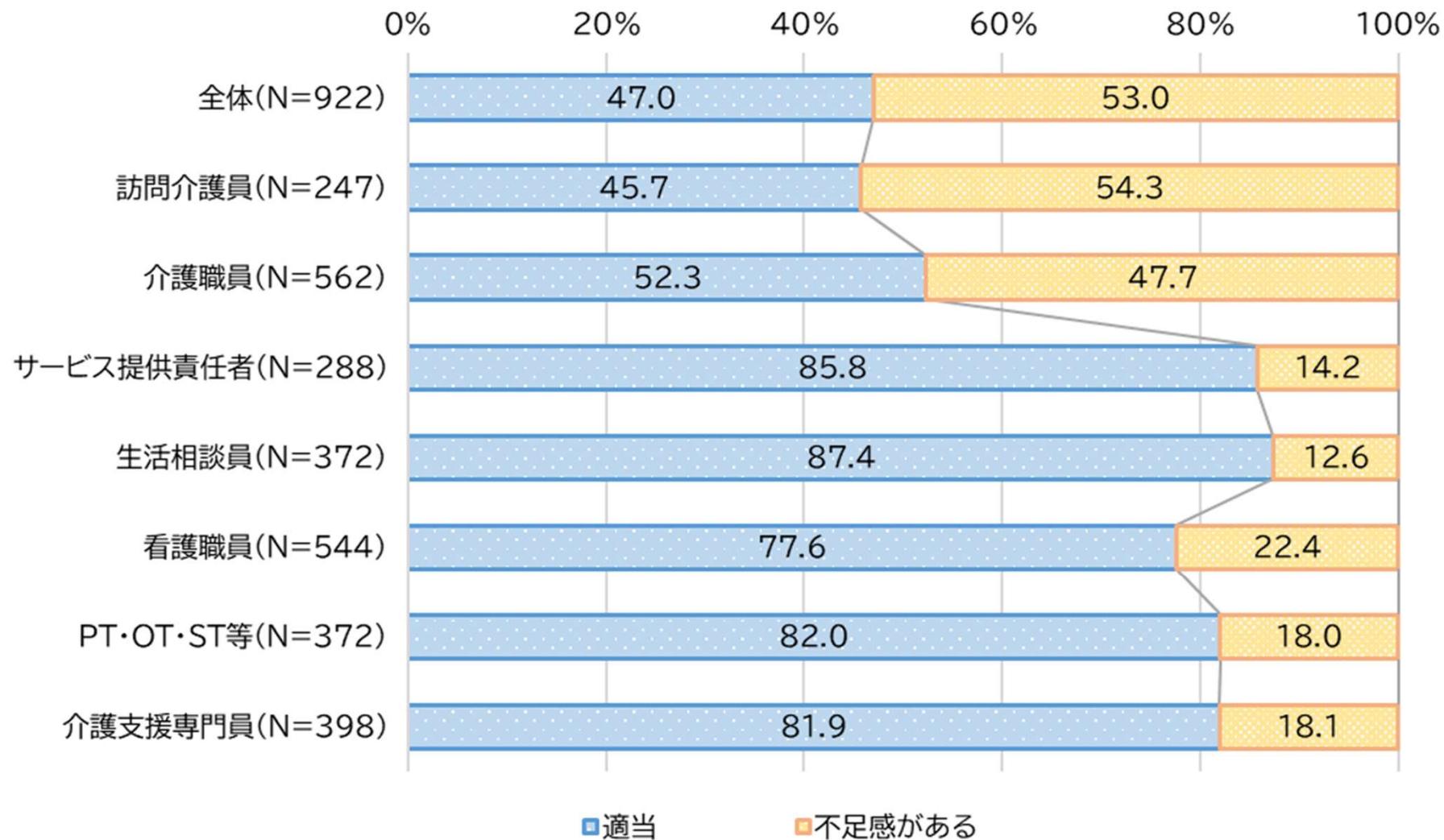
(5)福岡市における後期高齢者医療費の推移



出典：福岡市調べ

9. 福祉の担い手不足について

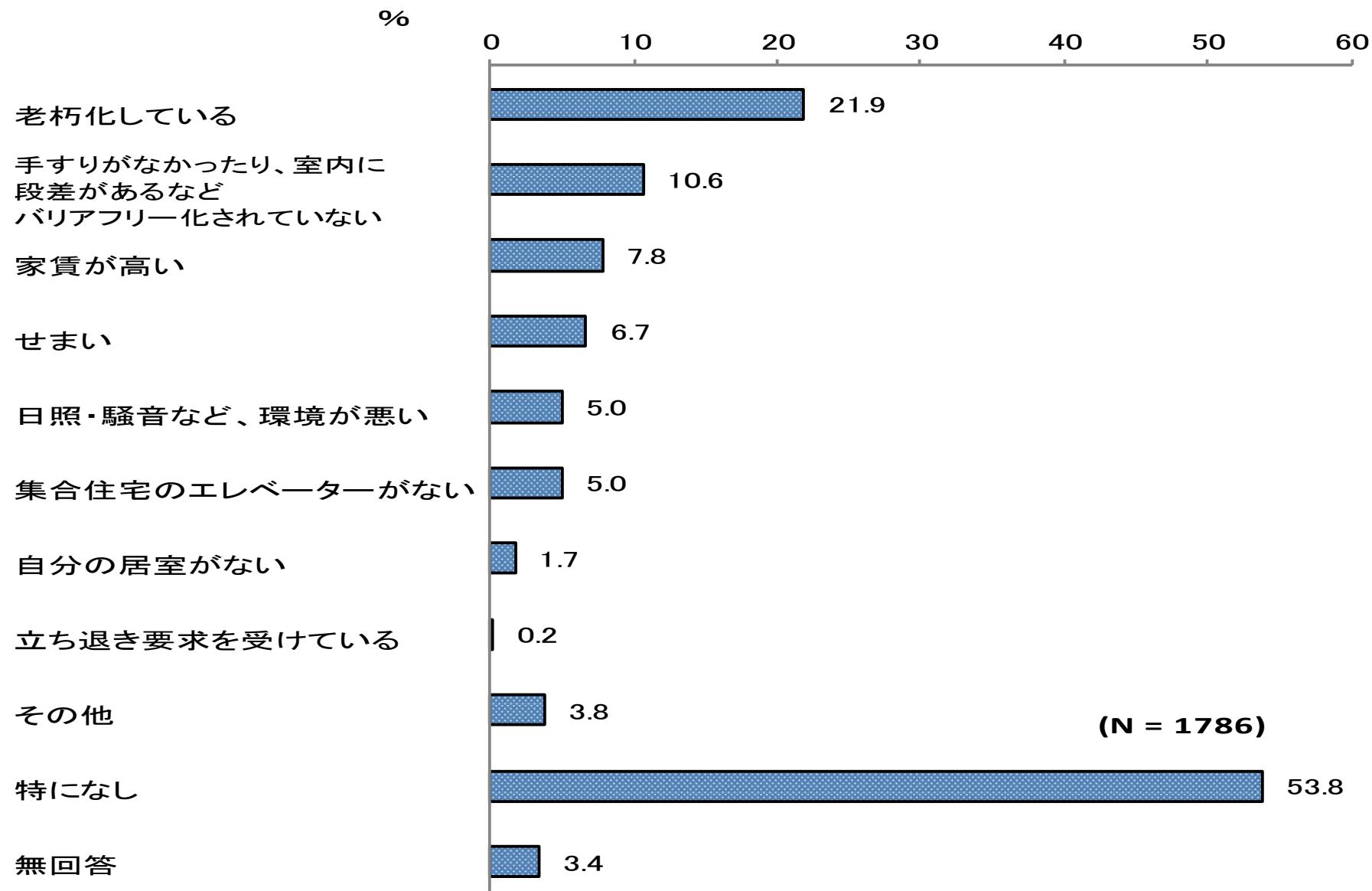
(1) 福岡市における従業員の過不足の状況



出典:令和6年度福岡市「介護労働に関するアンケート調査」の報告

10. 高齢者の住環境について

(1)住まいで困っていること



11. 感染症、食中毒について

(1) 福岡市における感染症の発生動向

① 1～5類感染症ごとの発生状況(全数報告 直近3年分)

感染症の分類	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	代表的な感染症
一類 (危険性が極めて高い感染症)	0件	0件	0件	エボラ出血熱 痘そう ペスト 等
二類 (危険性が高い感染症)	143件	140件	176件	重症急性呼吸器症候群 (SARS) 中東呼吸器症候群 (MERS) 結核 等
三類 (特定の職業で集団発生を 起こし得る感染症)	129件	88件	71件	細菌性赤痢 腸チフス 腸管出血性大腸菌感染症 等
四類 (動物等を介して感染する感染症)	41件	52件	51件	重症熱性血小板減少症候群 デング熱 レジオネラ症 等
五類 (発生・まん延を防止すべき感染症)	524件	708件	836件	梅毒 百日咳 麻疹 等

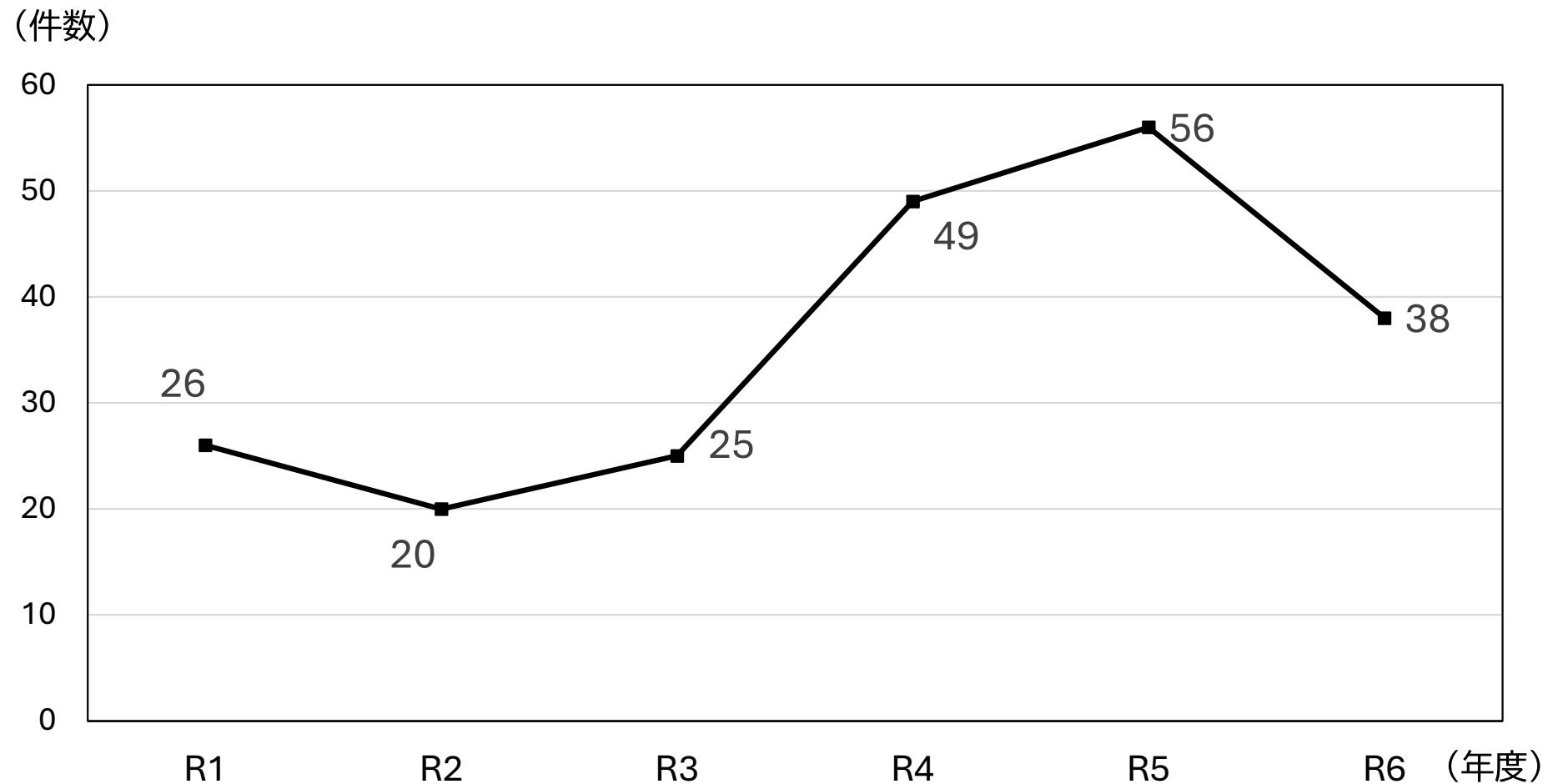
② 2000年以降に世界的な流行を引き起こし、日本にも影響を及ぼした感染症の発生状況

2002年 SARS(重症急性呼吸器症候群)

2009年 新型インフルエンザ(A/H1N1)

2020年 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

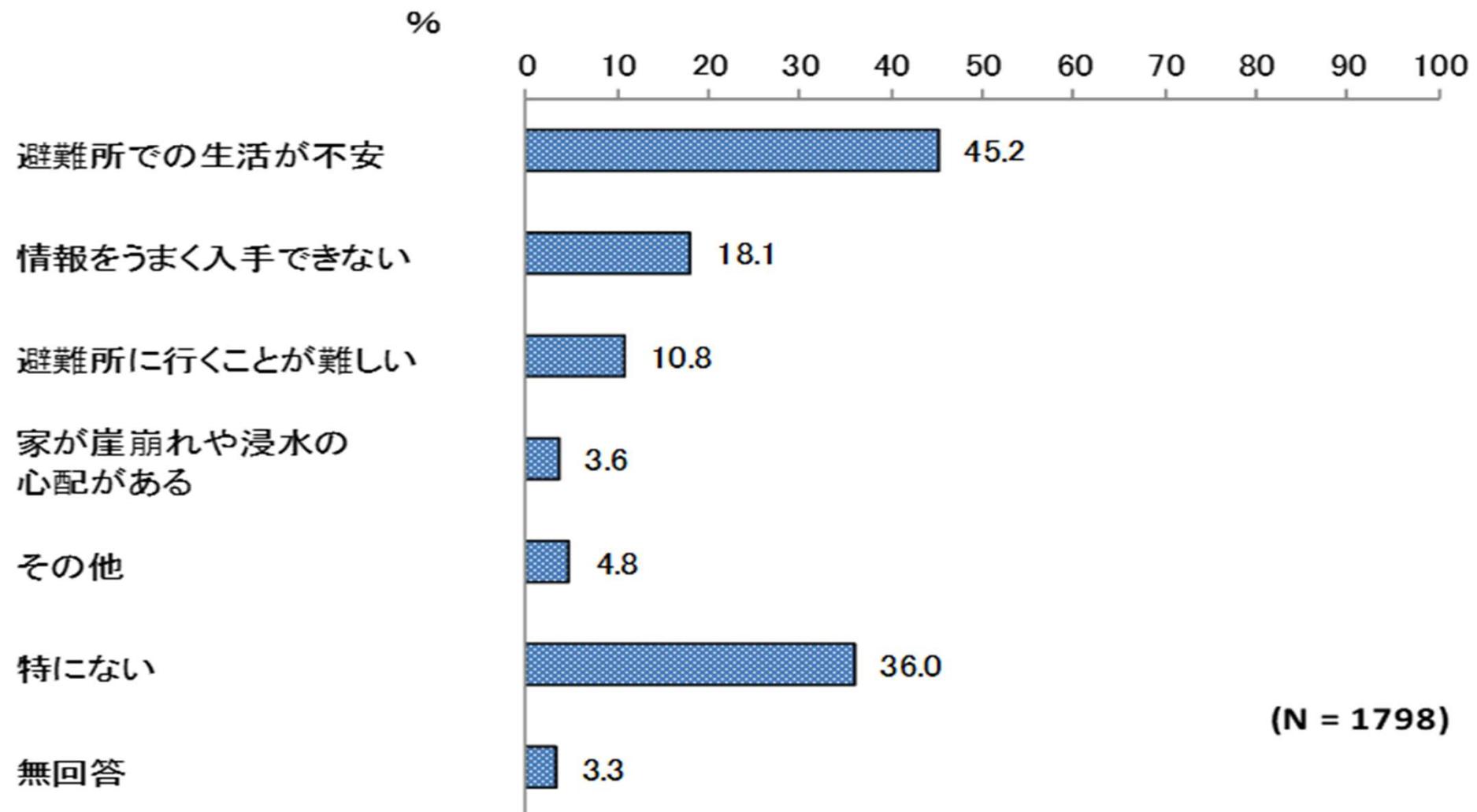
(2)福岡市における食中毒の年間発生件数



出典:生活衛生関係事業統計

12. 災害時について

(1) 高齢者における災害が起きた時の心配事や問題点



(2) 障がい者における災害が起きた時の心配事や問題点

	身体障がい者 (N=760)	知的障がい者 (N=563)	身体・知的 障がい児 (N=543)	精神障がい者 [通院] (N=701)	発達障がい児・者 (N=258)	難病患者 (N=661)
1位	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 (34.7%)	一人では避難できない (48.6%)	一人では避難できない (69.8%)	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 (38.8%)	避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい (43.0%)	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 (44.8%)
2位	一人では避難できない (29.6%)	避難所で必要な支援が受けられるか不安 (38.3%)	避難所で必要な支援が受けられるか不安 (48.4%)	避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい (23.1%)	避難所で必要な支援が受けられるか不安 (32.6%)	避難所で必要な支援が受けられるか不安 (23.1%)
3位	避難所で必要な支援が受けられるか不安 (27.5%)	避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい (37.6%)	避難所の設備が障がいに対応しているか不安 (46.6%)	避難所で必要な支援が受けられるか不安 (21.4%)	一人では避難できない (31.0%)	一人では避難できない (20.4%)
4位	避難所の設備が障がいに対応しているか不安 (24.6%)	避難所の設備が障がいに対応しているか不安 (29.6%)	子供が助けを求める方法がない (45.1%)	近くに助けてくれる人がいない (15.7)	避難所の設備が障がいに対応しているか不安 (23.6%)	避難所の設備が障がいに対応しているか不安 (16.2%)
5位	避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい (14.5%)	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 (29.4%)	避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい (41.6%)	一人では避難できない (11.3%)	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 (21.7%)	避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい (16.0%)

出典：令和元年度 福岡市障がい児・者等実態調査